

|      |                      |    |    |     |            |
|------|----------------------|----|----|-----|------------|
| 科目名  | ジャズ・ポピュラーコーラスⅡ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅷ | 形態 | 実習 | 開講期 | 秋学期        |
| 担当教員 | 森 久子                 | 単位 | 1  | 年次  | 1, 2, 3, 4 |

### ＝授業科目の目標＝

発声練習をふまえ、ゴスペル、ポピュラーソング、スタンダードジャズ（日本語の曲も含む）の中から取り組みやすい曲（特に英語詩が難解なものは避ける）を選び、リズムやハーモニー等、音楽的表現に加え、歌う喜びや楽しさ等、感情的表現を豊かにすることを目標とする。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

やる気があり、積極的に取り組める学生を望む。

### ＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）
- 3回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）・ゴスペルソング
- 4回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）・ゴスペルソング  
＜リズム・英語詩の練習＞
- 5回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）・ゴスペルソング  
（水曜日コンサートに向けてレパートリーを増やしていく）（その1）
- 6回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）・ゴスペルソング  
（水曜日コンサートに向けてレパートリーを増やしていく）（その2）
- 7回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）  
・ポピュラーソング（クリスマスソング等）
- 8回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）  
・ポピュラーソング（クリスマスソング等）＜英語詩（日本語も含む）＞
- 9回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）  
・ポピュラーソング（クリスマスソング等）＜リズム・ハーモニー＞
- 10回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）  
・ポピュラーソング（クリスマスソング等）
- 11回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）・レパートリー暗譜  
＜水曜コンサートに向け＞（その1）
- 12回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）・レパートリー暗譜  
＜水曜コンサートに向け＞（その2）
- 13回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）  
・バンド（ピアノ、ベース、ドラム他）との練習 ＜水曜コンサートに向けて＞（その1）
- 14回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）  
・バンド（ピアノ、ベース、ドラム他）との練習 ＜水曜コンサートに向けて＞（その2）
- 15回 発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため、毎回必ず行う）  
・バンド（ピアノ、ベース、ドラム他）との練習 ＜水曜コンサートに向けて＞（その3）

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

発表の中で、積極性、協調性や出席状況など総合的に判断する。

### ＝その他＝

特になし